



川西小だより

笑顔で『明るく 楽しく 元気よく』

令和8年10月30日【11月号】

家庭数配布

富田林市立川西小学校

TEL 24-3107

「言葉には不思議な力がある」

こうちょう もり こういち
校長 森 功一

いよいよ明日は運動会です。みなさん、これまで運動会に向けて本当によくがんばって取り組んできました。

先生たちの熱心に教える姿と、みなさんの前向きにがんばる姿…。今年も素晴らしい運動会になるのだろう
と思いました。明日は、これまでがんばったことを思う存分発揮して下さい。

さて、今月はみなさんに、「言葉には不思議な力がある」を伝えたいと思っています。子どもたちの中には
自信がなくて運動会にあまり気が進まない子もいるかも知れませんが、不安で仕方がない子もいるでしょう。

校長先生は、勝負に勝つことが大事とは思っていません。それよりも、全力で走っている姿を「がんばれ」

と応援してくれた。ダンスを「とても上手だったよ」と声をかけてくれた。不安に思っていたけど「大丈夫やで」

と励ましてくれた。これらの声かけが大事で、それが子どもたちの「不思議な力」を生み出すと思っています。

私たちが何気なく使っている言葉にも「不思議な力」があります。大事な場面を前に「よし!」と声を出すと

勇気が出てきます。また、落ち込んでいる時に思い切って周りの人に大きな声で「あいさつ」してみたら、自然

と心が明るくなってきます。どんな言葉を使うかはもちろんのこと、それをどのように口にするかによって

心が変わっていくのです。

毎日の言葉や感謝の言葉・励ましの言葉…。たった一言であっても心を込めて言葉で話せば、相手の心

に響き、自分の心も穏やかにしてくれます。勝つ経験も大きな自信と成長になりますが、あきらめずに最後

までやりきれたことの方が大きな成長につながります。

不安な時や友達が落ち込んでいる時は、「言葉という不思議な力」で状況を変えていってほしいです。

それでは、2学期も残り2ヶ月…。後半に向けてがんばっていきましょう。

～読み書きテストについて～

富田林市の小学校では、毎年1,2年生を対象に国語の時間を使い読み書きの力をはかる時間を設けています。また、

その結果について分析や学習指導、家庭学習の支援方法などに活かしています。学校と家庭と連携して読み書きの力を

高めていきますよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。